

平成24年度のまちづくり

〳 市政・教育行政執行方針と予算の概要〳

第1回定例会において、泉谷市長と吉田教育長がそれぞれ、本年度の市政執行方針と教育行政執行方針演説を行いました。

執行方針は、新年度にどのようなまちづくりを行うのか、教育行政をどのように進めるのかを明らかにするもので、この方針に基づいて各事業を進めるものです。

そこで、総額54億7,153万3千円の新年度予算とともに、その概要についてお知らせします。

1 市民と協働で創るまち

- 国・北海道からの権限移譲の受け皿としての準備や市民生活の向上を図るため対話重視の施策を継続し、市民主体のまちづくりに取り組みます。
- 「広報うたしなない」をより親しみやすくするため、アンケートの調査結果などを反映しながら紙面編集の工夫に努めます。
- 市の公式ホームページは、より早い情報提供の手段として、情報更



新のスピード化や的確な情報発信に努めます。

- 市民ニーズの把握と行政情報の共有化などを目的に開催する地区別市政懇談会や町内会連合会との情報交換会、小中学生との対話など、多くの市民と直接対話する機会を引き続き設けます。

2 活力と魅力あふれるまち

- 町内会・自治会と行政がよりいっそう連携を図り、さらなる地域活動の活性化を目的に、行政協力費の増額を行います。
- 恒久平和を願う啓発活動を推進し、市民の平和に対する意識の高揚を図ります。

- 商工業の振興
 - 商工業者の経営安定化に向け、商工会議所及び関係機関と連携して、各種制度の情報提供や相談等に努めます。
- 企業誘致活動
 - 産業の創出に向け、新産業創造等事業による助成制度の活用を積極的にアピールするとともに、既存企業による新分野開拓事業の推進を図ります。
- 鉱業の振興
 - 空知炭礦グループによる露頭炭採掘事業の長期継続に向け、関係機関と連携しながら支援を行います。
- 農業の振興
 - 株式会社内太陽ファームがワイン用ぶどう栽培に加え、羊による食肉、乳製品の製造、しいたけ栽培などの調査・研究を進めていることから、

事業の進捗状況にあわせて必要な支援を行います。

■ 観光事業の推進

- かもい岳温泉、スキー場、道の駅附帯施設は本市の貴重な観光資源として、指定管理者との連携を図るとともに、PRに努めます。



- 株式会社内振興公社が経営するチロルの湯及びアリーナチロルについて経営の安定化を図るため必要な事業支援を行います。
- 労働行政の推進
 - 各種支援制度などの情報提供を行いながら雇用の確保に努めます。
- 定住化の促進
 - 昨年度宅地造成した東光団地について、住宅建設助成金制度のPRに努め、分譲の促進を図ります。
 - 北海道の地域づくり総合交付金を活用した「定住促進プロジェクト」として、首都圏等で開催される「北海道暮らしフェア」に参加し、歌志内の魅力をPRすることで、移住・定住へのきっかけ作りとなるよう努めます。

■地域間交流の促進

●各種大会やイベントなどを実施する民間団体等を支援するなど、交流人口の拡大に努め、地域の活性化に取り組みます。

3 健康で心ふれあうまち

■地域福祉の充実

●市民の英知を集めた計画として策定している「歌志内市地域福祉計画」について、本年度中の完成を目指すとともに、すでに取り組みを開始している各種施策を積極的に推進するなど、地域福祉の充実に努めます。

■高齢者保健福祉の推進

●介護、予防、医療、生活支援、住まいの各サービスを一体的に提供する「地域包括ケア」の基本理念を念頭におきながら、社会福祉協議会をはじめ各関係機関と相互連携を密に、多様化する高齢者ニーズに対応していくとともに、高齢者支援の中核機関である地域包括支援センターがその機能をし



その機能を

ゆうぶんに発揮できるように、介護予防、権利擁護、総合相談支援、包括的・継続的ケアマネジメント業務の取り組みを最優先として行います。

■児童福祉の推進

●児童福祉法一部改正法に基づく必要なサービス水準の維持に努めるとともに「歌志内市次世代育成支援対策地域行動後期計画」に掲げる各種施策に基づき、次代を担う子どもたちが健やかに生み育てられる環境の整備を図ります。



■障がい者福祉の推進

●障害者自立支援法一部改正法に基づく必要なサービス水準の維持に努めるとともに、「第3期歌志内市障がい福祉計画」に基づき、障がいのある人もない人もともに、安心して暮らすことのできる社会を実現するため、各種サービスの提供を継続し、支援体制の強化を図ります。

■保健行政の推進

●市民が健康で明るい生活を送ることができるよう、予防対策事業及

び健康づくり事業を推進します。

●生活習慣病予防対策として、20歳から30歳代の健康診査を新たに実施するほか、生活保護受給者の各種健診等の料金について全額免除を行います。

●女性特有のがん検診推進事業を継続するほか、胃・肺・大腸がん検診における全額免除の対象年齢を拡大し、壮年・中年期層の受診の促進を図ります。

●感染症予防対策として、子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌予防ワクチンの接種に対する全額公費負担を継続します。

●妊産婦の健康管理と乳幼児の健やかな成長のため、健康診査や各種保健事業を推進します。

●健康管理システムの機器を更新し、住民の健康に係わる情報の整備と保健事業の効率的運営を行うための環境整備を行います。

●健康増進法に基づく「市町村健康増進計画」の策定を念頭に、市民の健康を取り巻く生活実態を把握するためアンケート調査を実施します。

■病院事業の運営

●「歌志内市立病院経営健全化計画」を基本に、不良債務を発生さ

せないよう、経営の健全化にいつそう努力します。

●現状の医師及び診療体制を確保し、安定的な医療の提供に努めます。

●本年4月1日より医療法の改正に伴い、療養病床の看護職員及び看護補助者の人員配置基準が引き上げとなることから、病棟の看護師等を増員し、長期にわたり療養が必要な医療必要度の高い患者の受け入れ体制を整えるとともに、入院患者サービスの充実に努めます。

■国民健康保険事業・後期高齢者医療事業

●空知中部広域連合、北海道後期高齢者医療広域連合が掲げる事業計画に基づき、医療費の適正化を図るとともに、各種保健事業を推進し、被保険者の健康の維持、増進及び事業の安定化に努めます。

●子どもの医療費助成について、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、自己負担、所得制限を撤廃し無料化するとともに、対象を中学3年生まで拡大します。



4 快適でやすらぎのあるまち

■道路・市営住宅の整備

●道路については、きめ細やかな日常点検を行い、冬期間は、降雪状況や沿道の堆雪状況を把握しながら、歩車道の確保に努めます。

●道路整備事業は、平成22年度に一部排水工事を先行実施した本町地区の環境整備を図るため、改良舗装工事を行います。

●市営住宅は、「歌志内市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化住宅の解体除却事業や集約などを進め、よりいっそうの住環境整備に努めます。なお、本年度は、歌神地区改良住宅建替事業として、6棟32戸の解体除却のほか、維持管理事業として、上歌・歌神地区5棟30戸の屋根塗装工事や文珠地区2棟12戸の無落雪化工事を行うなど、住宅の長寿命化を図ります。

■上水道事業

●中空知広域水道企業団の管理のもと、安全で安定的な水道水の供給が確保されるよう努めます。

■下水道事業

●住環境の快適性向上のため、未整備住宅への水洗化促進に努めます。

■環境衛生事業の推進

●ごみの不法投棄などの防止を図るため、看板の設置や巡回啓発を行うとともに、地域や関係団体の協力を得ながら、ごみの減量や資源化並びに環境美化に努めます。

●可燃ごみの処理について、中・北中空知廃棄物処理広域連合が事業主体である新焼却施設の建設を推進するとともに、同施設から排出される焼却灰を処理するため、㈱エコーバレー歌志内から最終処分場を取得し管理運営します。

●衛生センターについては、砂川地区保健衛生組合からの受託処理を継続し、施設の効率的な運営に努めるとともに、平成27年度のし尿の共同処理に向けて、関係市町等と具体的な協議を進めます。

■消防行政の推進

●市民一人ひとりの防火意識の高揚に努め無火災の継続を目指します。

●救命率向上のため、救急隊員の教育研修に努めるとともに、市民を対象とした普通救命講習の充実を図り、応急処置の普及啓発を推進します。

●多様化する消防活動に即応するため、老朽化した「水槽付消防ポンプ自動車」を更新します。

●消防の広域化について、「北海道消防広域化推進計画」に基づき、引き続き協議します。

■防災対策

●東日本大震災の教訓を生かし、市民の防災・減災意識の高揚に努めるとともに、災害の発生時に備え、女性や災害弱者のニーズに配慮しながら、避難者用の毛布や非常食などの備蓄を進めます。

●災害関係における情報収集伝達の通信基盤「北海道総合行政情報ネットワーク」について、北海道と各市町村が共同して更新整備を実施し、災害時の緊急連絡や防災情報の共有など、迅速かつ効果的な防災対策に取り組みます。

■防犯対策

●自主防犯活動に取り組まれている諸団体への支援充実など、市民が安心して日常生活を送ることのできる地域づくりを推進します。

■交通安全の推進

●関係機関・団体と連携した交通安全運動及び啓発活動を通じ、交通安全意識の高揚と交通マナーの向上に努め、交通事故のない安全なまちを目指します。

■消費者行政の推進

●複雑・多様化する消費者被害の未

然防止と被害相談等への迅速な対応を図るため、関係機関・団体との連携を強化し、消費者保護に努めます。

5 豊かな心を育む教育と文化のまち

■学校教育推進の重点

①確かな学力を身につける教育活動の推進

●基礎的・基本的な知識や技能を確実に身につけさせる学習内容を指導計画に位置付けるとともに、個に応じた指導を充実します。

●身につけた知識や技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育成するため、体験的・問題解決的な学習を重視し、子どもの思考の道筋を生かした自主的・自発的な学習意欲を養い、「生きる力」を育みます。

●文部科学省が実施する「全国学力・学習状況調査」を実施し、活用して指導力向上を図る授業研究を計画的に実施し、「わかる授業」を追求します。

●放課後活動を活用し、学習サポートの実施を図り、一人ひとりの良さや可能性を発揮させ、個に応じたきめ細かな指導と評価を工夫す

るとともに、出番を与え、励まし、自分らしさを発揮させる学習指導を推進します。

② 自らを律する教育活動の推進

● 地域の人材や自然など多様な教育資源を活用して豊かな体験活動を展開し、発達段階に応じた道徳教育の充実を通じて、豊かな人間性を築き、「生きる力」を育みます。

● 自然体験学習や社会参加の精神を培うボランティア活動等実践的諸活動を重視し、相互に人格や人権を尊重し、啓発し、協力し合って物事を成し遂げる成就感や達成感を体得する教育活動を推進します。

● 児童、生徒に「早寝早起き朝ごはん」運動など基本的な生活習慣を適切に身につけさせるとともに、道徳心や自律心、公共の精神を深め、道徳的実践力の伸長を図るため、家庭や地域との連携を深め心に響く道徳教育を展開します。

③ 健康で安全な生活習慣教育の推進

● 児童、生徒一人ひとりに生命の尊さや心身の健康のたいせつさを認識させるとともに、自ら心身の健康づくりに取り組む意欲と実践力を通じて、「生きる力」を育みます。

● 健康保持・増進の学習、安全に関する意識を高める指導計画の工夫

や交通安全教室の実施等、適切かつ確実に指導体制を確立します。

● 文部科学省が計画している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施します。

● 「インクルーシブ教育（障がいを持つ子を排除しない教育）」を幼・小で引き続き進めるため、学習活動上のサポートとして、教育的観点からの人的配置に努めます。

● 学校における食に関する指導の充実を図るため、栄養教諭の直接指導により、児童、生徒の心身の健全な発達に資することを基本に、望ましい人間関係や健康的な食生活を営む習慣を身につかせます。

● 家庭と連携を深め、計画的、継続的に食育指導を進めます。

● 安全・安心な給食提供を目指すため、食材の厳選と学校給食における食中毒の発生を防ぐために調理員の衛生知識の向上及び施設の衛生管理を徹底します。

■ 社会教育推進の重点

① 豊かな体験活動を通して青少年の健全育成

● 子育てがしやすい環境づくりに努め保護者を対象とした学習機会の創出や、地域ぐるみによる健全育成に努めるなどの支援を行います。

● 基本的な生活習慣や社会性を身に付ける取り組みとして、宿泊体験などの学習活動を実施します。

● 青少年センターを中心に関係機関、団体等との連携を図り、子どもの安全確保や非行防止に努めます。

② 成人・高齢者の生きがいと、地域の絆を深める学び環境の充実

● 学習活動に生きがいをもち、地域の絆を一層深めることができるよう、教室・講座の開催やサークル活動を活性化するなど、学び環境の充実を図ります。

③ 生涯スポーツの振興と健康づくりの促進

● 各種情報の提供や健康づくり事業を積極的に進め、誰もがいつまでもスポーツに親しむことができるよう、世代に応じたスポーツ活動の充実を図るなど、生涯スポーツの振興に取り組みます。

● 地域の特性を生かしたスポーツを継承していきうえで、スキーを青少年に奨励し、多くの経験を重ねる機会を設けます。



6 市政を推進するために

● 多種多様な市民ニーズに応えるため、職員の意識改革を進めるとともに、市民にとって親しみのある利用しやすい市役所づくりを目指します。

● 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政健全化判断比率に留意しながら、比較的高い実質公債費比率及び将来負担比率の削減に努めるなど、財政の安定化を推進します。

● 中空知広域市町村圏組合による圏域振興に向けた各種事業に参画し、さらには、中・北空知廃棄物処理広域連合による廃棄物処理事業や戸籍システムの共同運用などに取り組みるとともに、「定住自立圏構想」及び中空知地域広域連携研究会が進める新たな広域化に向けた事務事業の調査、研究に取り組みます。

● 情報化については、住民サービスの向上及び行政運営の安定化並びに効率化を図るため、必要なシステム機器の更新を行いながら、本市の地域性や規模に見合った整備を進めます。

平成24年度 当初予算の概要

平成24年度の予算は、効率的かつ安定的な財政運営を図るため、事務事業の優先順位を見極めながら、特に住民福祉の向上と住民生活の安全確保を優先に編成を行いました。

住民福祉の向上については、中学卒業までの子ども医療費の無料化や、生活習慣病発症前の若い世代を対象とした健康診査事業などを新たに実施するほか、高齢者等生活支援事業などの各種福祉サービスを継続して実施します。

住民生活の安全確保については、橋りょう長寿命化計画の策定に着手するほか、消防ポンプ自動車の更新や防災備蓄等の充実を図り、災害等の発生に備えます。

また、定住促進を図る事業として、首都圏での移住PR活動等を新たに実施するほか、東光団地に住宅を建設される方に対する建設費補助を継続して実施します。

投資的事業については、歌神地区改良住宅建替事業、改良住宅屋根改修工事の実施、水槽付消防ポンプ自動車、幼稚園バスの更新、防火水槽の新設及び教育施設の整備のほか、

旧消防庁舎の解体除却などを行います。

なお、職員給与及び特別職給与の抑制につきましては、削減率を緩和しつつ、今後も継続して実施します。

一般会計予算の総額は、40億3,000万円、前年度と比べ1億1,000万円、2.6%の増で、3年ぶりの増額予算となりました。この主な要因は、水槽付消防ポンプ自動車整備事業をはじめとする普通建設事業費の増によるものです。

また、その他特別会計と病院事業会計を合わせた全6会計の予算総額は、54億7,153万3千円で、前年度と比べ1億5,174万1千円、2.9%の増となりました。



24年度の予算総額は54億7,153万3千円

会計別	24年度当初予算額	23年度当初予算額	増減	伸び率
1. 一般会計	40億3,000万円	39億2,900万円	1億100万円	2.6%
2. 特別会計	7億5,610万円	7億3,300万円	2,310万円	3.2%
① 公共下水道	4億320万円	4億1,780万円	△1,460万円	△3.5%
② 神威岳観光	3,910万円	5,010万円	△1,100万円	△22.0%
③ 国民健康保険	2億1,350万円	1億7,260万円	4,090万円	23.7%
④ 後期高齢者医療	1億30万円	9,250万円	780万円	8.4%
一般・特別会計合計	47億8,610万円	46億6,200万円	1億2,410万円	2.7%
3. 病院事業会計	6億8,543万3千円	6億5,779万2千円	2,764万1千円	4.2%
全会計の総計	54億7,153万3千円	53億1,979万2千円	1億5,174万1千円	2.9%

平成24年度の主な事業と予算

1 市民と協働で創るまち

- 町内会・自治会に対する行政協力費 235万7千円
- 広報広聴活動（広報印刷製本費等） 173万3千円

2 活力と魅力あふれるまち

- 中小企業振興保証融資事業預託金 5,000万円
- 企業誘致対策経費 91万3千円
- かもい岳スキー場施設整備（リフト整備等） 3,224万7千円
- かもい岳温泉施設整備（別館屋根塗装） 232万1千円
- 観光施設活性化推進事業支援 1,598万円
- 緊急雇用創出推進事業 537万8千円
- 定住促進事業
- ▽ 移住のPR活動（首都圏でのPR）等 141万8千円
- ▽ 定住促進助成事業（住宅建設助成） 200万円
- ジュニアオリンピックスキー競技会補助金 50万円

3 健康で心ふれあうまち

- 地域福祉計画策定推進事業 11万2千円

施設運営等委託（社会福祉協議会）

- ▽ シルバーハウジング（東光・神威） 684万5千円

食の自立支援（給食宅配サービス）

- ▽ 在宅高齢者支援事業（安否確認）ほか 482万3千円

高齢者等生活支援事業

- ▽ 高齢者等生活支援事業 108万9千円
- ▽ 老人家庭除雪 89万円

外出支援サービス

- ▽ 除雪機購入（老人家庭除雪用） 61万1千円

20・30歳代健康診査事業

- ▽ リー貸与事業 167万9千円
- ▽ 20・30歳代健康診査事業 14万8千円

生活保護世帯各種検診無償化

- ▽ 検診料総額57万5千円

がん検診料免除対象年齢拡大（60歳）

- ▽ 検診料総額362万2千円

子宮頸がん等ワクチン公費負担

- ▽ 妊婦健診助成 237万円

健康管理システム機器更新（電算機借上料）

- ▽ 健康管理システム機器更新（電算機借上料） 40万5千円

市町村健康増進計画策定

- ▽ 市町村健康増進計画策定 20万5千円
- 病院事業会計繰出金 2億1,891万1千円
- 歯科診療所改修 311万9千円
- 中学卒業までの子ども医療費無料化 626万円

4 快適でやすらぎのあるまち

- 橋りょう長寿命化計画策定に係る橋りょう点検委託 330万円

市道側溝補修・案内表示板取付等工事（道路維持）

- 市道側溝補修・案内表示板取付等工事（道路維持） 844万9千円

中央社宅2号線道路改良舗装

- 中央社宅2号線道路改良舗装 2,383万1千円

中村8号線階段手摺設置

- 中村8号線階段手摺設置 150万円

公営住宅の集約に係る移転補償

- 公営住宅の集約に係る移転補償 144万円

改良住宅・市営住宅

- ▽ 歌神地区改良住宅建替事業（解体除却等） 3,135万2千円

屋根塗装

- ▽ 屋根塗装 230万8千円

屋根改修

- ▽ 屋根改修 2,091万3千円

給水管布設替

- ▽ 給水管布設替 248万9千円

道路舗装改修

- ▽ 道路舗装改修 159万6千円
- 下水道長寿命化計画策定等委託 1,000万円
- 水槽付消防ポンプ自動車整備事業 5,481万8千円
- 旧消防本部解体除却 1,208万6千円
- 防火水槽新設 891万9千円
- 消防救急デジタル無線施設整備（実施設計） 1,333万5千円
- 歌志内線代替バス運行経費補償金 770万5千円
- 代替浴場施設補助金 74万2千円

住宅改修促進助成事業

- 住宅改修促進助成事業 200万円

北海道総合行政情報ネットワーク更新整備負担金

- 北海道総合行政情報ネットワーク更新整備負担金 242万9千円

5 豊かな心を育む教育と文化のまち

- 中学校遠距離通学費補助金 247万3千円

幼小中一貫教育推進委員会交付金

- 幼小中一貫教育推進委員会交付金 60万円

副読本編集委員会交付金

- 副読本編集委員会交付金 10万円

小学校教室等塗装

- 小学校教室等塗装 577万5千円

小・中学校補助教材費の市負担

- 小・中学校補助教材費の市負担 102万6千円

放課後学習サポート事業

- 放課後学習サポート事業 26万3千円

中学校グラウンド整備

- 中学校グラウンド整備 123万円

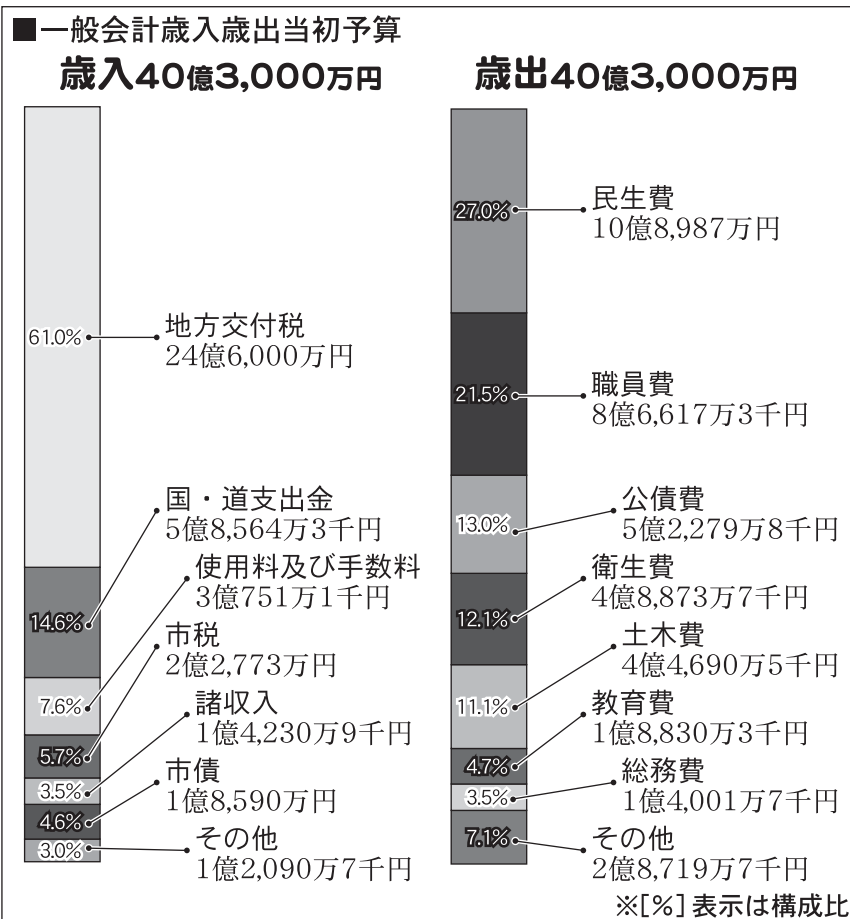
外国青年招致事業

- 外国青年招致事業 496万円
- 幼稚園児スキー学習 32万9千円
- 幼稚園バス整備事業 840万3千円
- 市民体育館改修 197万2千円
- 学校給食費値上げ分の市負担（21年度～26年度） 71万1千円
- 給食センター厨房用備品整備 304万7千円
- 6 市政を推進するために 情報化の推進（電算システム保守委託等） 2,643万円

一般会計当初予算の概要

市の基本的な経費を計上している一般会計について、各支出科目別の主な使用道や、前年度当初予算と比較したときの主な増減などをご説明します。

なお、【】内の数字は、本年2月末の人口4,287人で算出した市民1人当たりの予算額です。



議会費

4,909万2千円
【11,451円】

議員報酬や議会の運営に使われるお金で、議員共済費給付費負担金の減などにより、前年度と比べ253万6千円減少しました。

総務費

1億4,001万7千円
【32,661円】

庁舎管理費や徴税、戸籍、選挙、統計調査、監査委員などにかかる経

費で、前年度の中型バスの購入や宅地造成分譲事業の減などにより、前年度と比べ2,250万7千円減少しました。

民生費

10億8,987万円
【254,227円】

高齢者サービスや生活保護費、障がい福祉サービスなどに使われるお金で、介護保険に係る空知中部広域連合や北海道後期高齢者医療広域連合の負担金の増などにより、前年度と比べ1,534万円増加しました。

衛生費

4億8,873万7千円
【114,004円】

保健予防対策やごみ処理、環境衛生などに使われるお金で、前年度の上歌最終処分場膜処理装置整備工事などが減となった一方、病院事業会計繰出金の増などにより、2,505万2千円の増加となりました。

商工費

9,256万8千円
【21,593円】

商工業の振興対策や観光振興などに使われるお金で、普通建設事業費の減などに伴い市営神威岳観光特別会計への繰出金が少なくなったことなどから、前年度と比べて475万6千円の減少となりました。

土木費

4億4,690万5千円
【104,247円】

道路整備や除排雪のほか、公営住宅の整備などに使われるお金です。

前年度のロータリー除雪車整備事業などが減となった一方、中央社宅2号線道路改良舗装工事や改良住宅屋根改修工事の増などにより、前年度と比較して2,040万9千円増加しました。

消防費

1億1,809万8千円
【27,548円】

消防の活動や施設整備に使われるお金で、水槽付消防ポンプ自動車整備事業の増などにより、前年度と比べ7,891万3千円増加しました。

教育費

1億8,830万3千円
【43,924円】

学校教育や社会教育の振興などに使われるお金で、幼稚園バス整備事業の増などにより、前年度と比べ1,961万7千円増加しました。

公債費

5億2,279万8千円
【121,950円】

事業のために借り入れたお金の返済金で、前年度に比べ2,942万円減少しました。

職員費

8億6,617万3千円
【202,046円】

市職員の給料などを支払うお金で、前年度と比べ345万8千円増加しました。